

学校だより ミモザ 特別号

令和3年8月30日

校長 内藤 弘美
担当 佐藤 正和

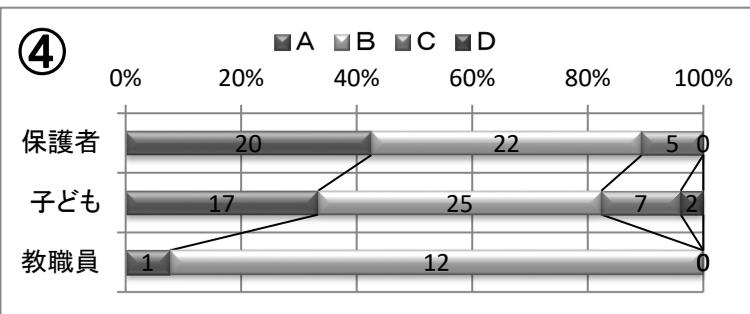
☆1学期にご協力いただいた学校診断評価のまとめについて、ご報告いたします。

令和3年度 学校診断評価 (前期) まとめ

☆A→よい・ある・そのとおり B→どちらかというといよい・どちらかというと思う C→どちらかというとい悪い・どちらかというとい思わない D→悪い・ない・思わない
☆それぞれの結果をもとに、「A」「B」と「C」「D」の境界に着目して考えてみました。おおむね80%を目安に、よい評価・成果と考えられるものを○、課題や問題点と思われるものを●としました。「→」以下には、今後の対応や具体的な手立てについて太字で記しました。

重点教育① キャリア教育について

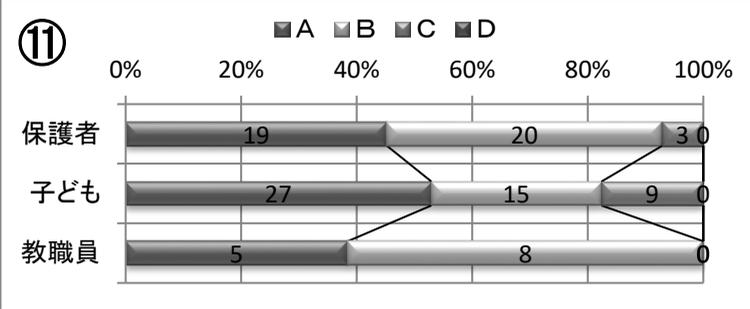
④お子さんは学習内容が定着している。



○3者ともよい評価が得られた。

→**継続**。今後もキャリア教育の4つの視点(かかわる力・見つめる力・応じる力・決めて動く力)に基づく力を付け、確かな学力を身に付けるようにする。教職員のA評価が低いのは、自ら考える力や表現力をもっと高めたいという思いの表れと見ている。日々の授業を見直し、授業改善に努めていく。

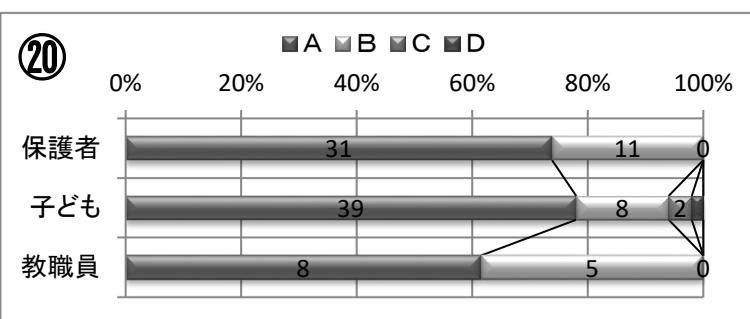
⑪桃山小は学力向上のための努力や工夫をしている。(子ども→自分の力ややりたいことにあった学習をしてくれる。)



○3者ともよい評価が得られた。

→**継続**。学力向上については、知識・技能の定着を基盤とし、思考や対話をととして、確かな学力を身に付けていけるよう授業改善を進めている。また、外国語や道徳教育、ICTの活用など、新しいニーズに合わせた研修を積んでいる。A評価の数値を上げていくことを課題とし取り組んでいく。

⑳桃山小のキャリア教育(夢学校・夢先生)は有意義だと思う。(子ども→ためになった。)

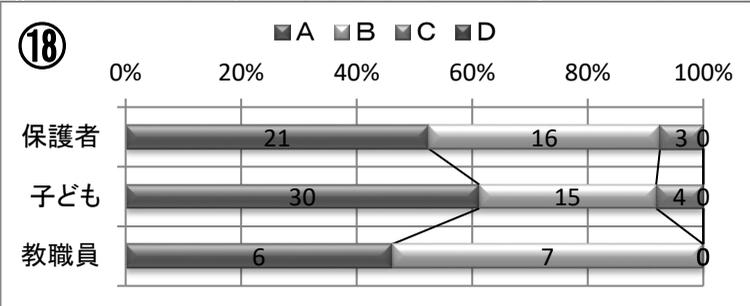


○3者ともよい評価が得られた。

→**継続**。今年度の夢学校については、感染症の関係から中止としたが、地域の皆様のお力をお借りしての充実した活動という捉えであり、子どももとても楽しみにしている。今後も感染症等の状況を見ながらではあるが、本校の特色ある教育活動のひとつとして、その活動の意義や目的を確認した上で、広く理解と協力を呼びかけていく。

重点教育② 健康安全教育について

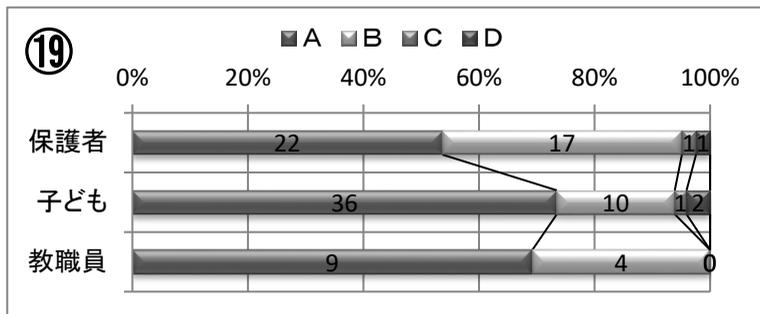
⑱桃山小の保健指導・体育的活動は心身の健康づくりに有効だと思う。(子ども→ためになった。)



○3者ともよい評価が得られた。

→**継続**。今後も運動の量や質、内容について、子どもたちの実態を把握しながら、力を付ける指導を重ねていく。特にレジリエンス教育については、重点的に取り組んでいく。気象条件等にも配慮し、子どもの安心・安全を第一に考えていく。

⑩桃山小の食育指導(給食での指導等)は適切だと思う。(子ども→ためになった。)

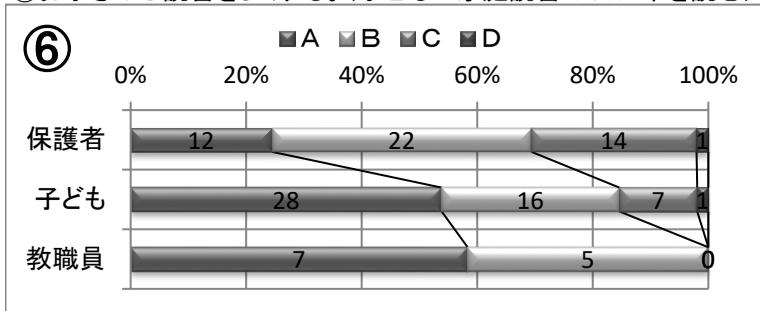


○3者ともよい評価が得られた。

→継続。今後も養護教諭や栄養士からの専門的な指導を取り入れながら、子どもの健やかな成長を支援していく。

重点教育③読書教育について

⑥お子さんは読書をよくする。(子ども→家庭読書の日に本を読む)

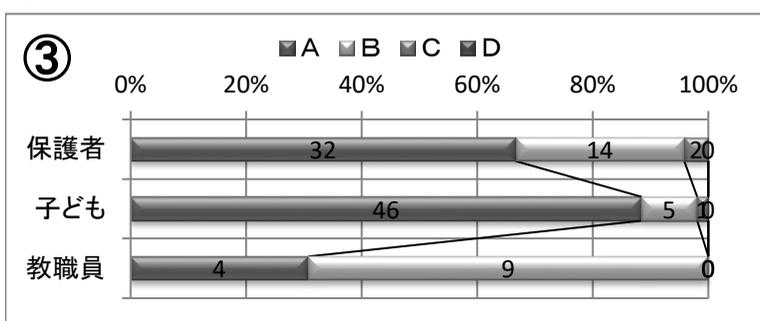


●保護者の評価が8割に達しなかった。

→継続。スマイルブックタイムや読み聞かせ、音読指導など、学校における読書活動は効果があるとみられる。家庭での読書活動について、家庭読書の日の充実を図りたい。毎週木曜日の家庭学習をなくして読書の時間を確保するように取り組んでいるが、「読書をよくする」という評価には至っていない。ブックバスの有効活用なども含めて、家庭読書の日の取組を充実させたい。

重点教育④道徳教育について

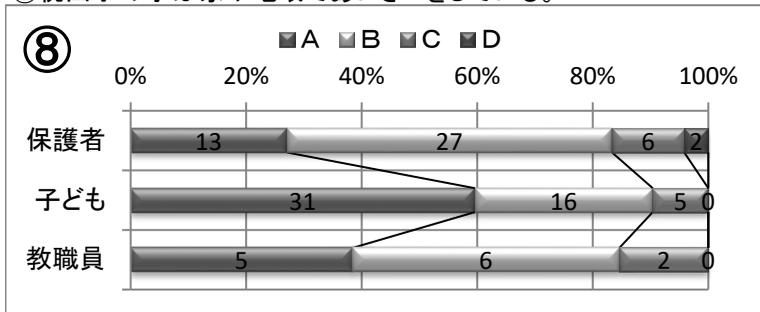
③桃山小の子は友達と仲良く遊んでいる。(子ども→仲のよい友達がいる)



△3者とも80%は超えたが、仲の良い友達がいるとみんなが答えられるよう支援の積み重ねを継続していく。

→少人数の中での人間関係をさらによりよくしていきたいという教職員の願いは強い。そのためにも、心の教育を大切にしていく。今後もよりよい友達関係づくりを、学級だけでなく縦割り活動や保護者・地域の皆様とのかかわりの中で育み見守っていく。全ての職員で個々の子どもたちを見とるようにし、子どもたちの心の安定を支えていく。

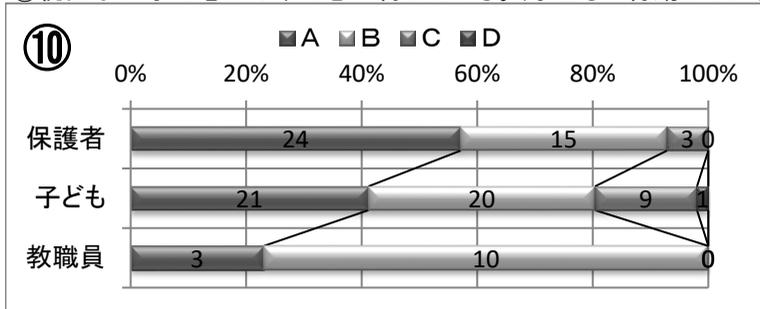
⑧桃山小の子は家や地域であいさつをしている。



○3者ともよい評価が得られた。

→継続。子どもはあいさつができていると思っても、時と場に応じたあいさつが自然とできるようになってほしいと願う保護者や教職員の思いも感じられる。A評価の数値が上がっていくように、日常的に場に応じたあいさつが自然とできるよう、質的な高まりを目指していく。

⑩桃山小の子は思いやりの心が育っている。(子ども→行動している。)

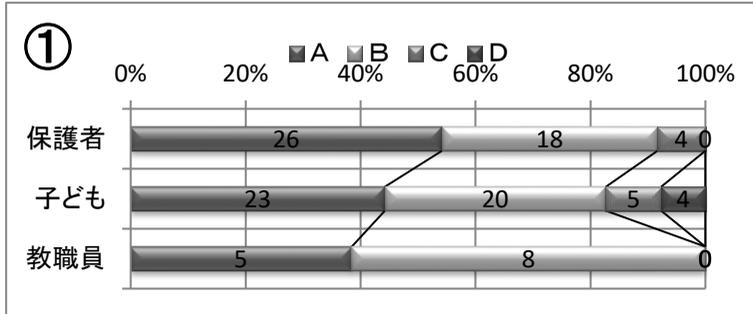


○3者ともよい評価が得られた。

→継続。これからも相手の立場に立って物事を判断し、考えられる場を意図的に設定していく。

その他の項目について

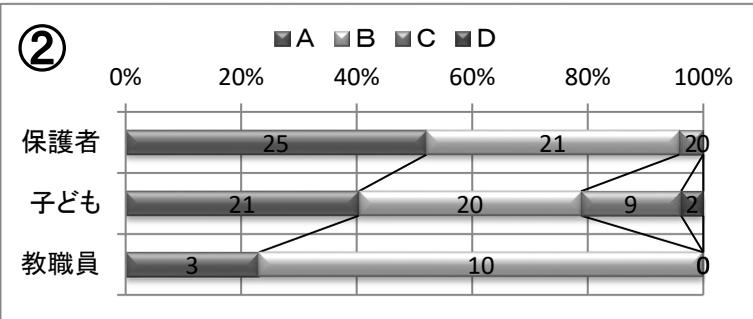
①お子さん(あなた)は学校へ行くのを楽しみにしている。



△3者とも80%を超えたが、学校へ行くのが楽しみだとみんなが答えられる支援を積み重ねていく。

→継続。個の見取りを大切に、達成感・成就感を味わえる指導を継続していく。日々の様子を丁寧に見取るようにし、子どもたちの心に丁寧に寄り添っていく指導を積み重ねていく。

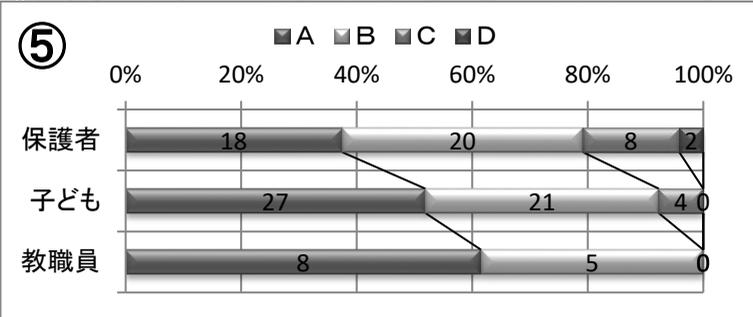
②お子さん(あなた)は学校や友達の話をよくする。



●子どもの評価が8割に達しなかった。

→学年が上がるにつれ数値が低くなる傾向にあるが、魅力ある授業や行事を積み重ね、学校での様子が話題に上がるよう、働きかけていきたい。学校からは引き続き、お便りやホームページなどでの情報発信を丁寧に行っていく。

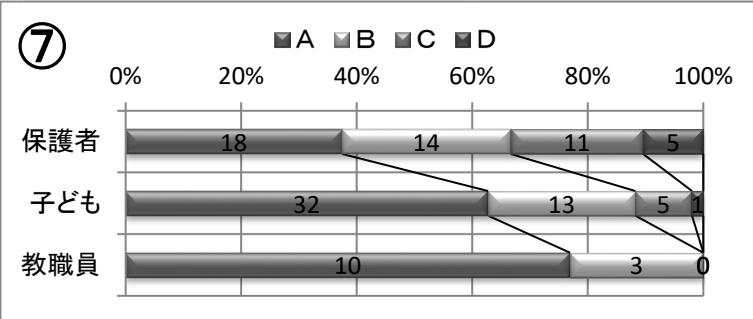
⑤お子さん(あなた)は宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる。



●保護者の評価が8割に達しなかった。

→宿題や家庭学習には取り組むものの「進んで」という部分に一つの課題があると感じられる。その時々(時期)に合った課題の出し方、時間の使い方等にも配慮しながら、指導を重ねていく。また、引き続き、家庭と協力し取り組んでいく。

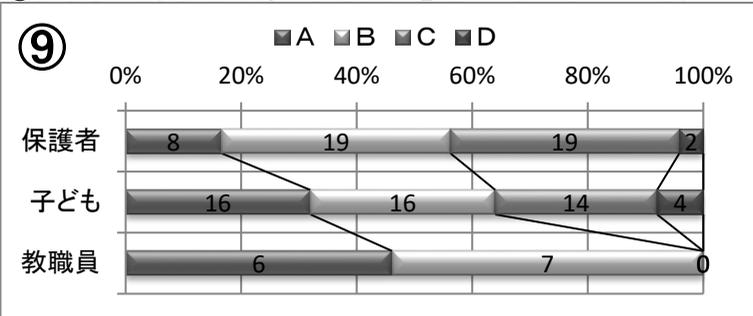
⑦お子さん(あなた)はよく運動(外遊び)をする。



●保護者の評価が8割に達しなかった。

→日常の運動経験については、個人差や環境の違いが大きく影響するので一概には言えないが、「体を動かすことの楽しさ」を味わえるような指導を、すこやかタイムや体育の時間などに重ねていくことで、体力の向上につなげていきたい。

⑨お子さん(あなた)は家でお手伝いを進んでおこなっている。

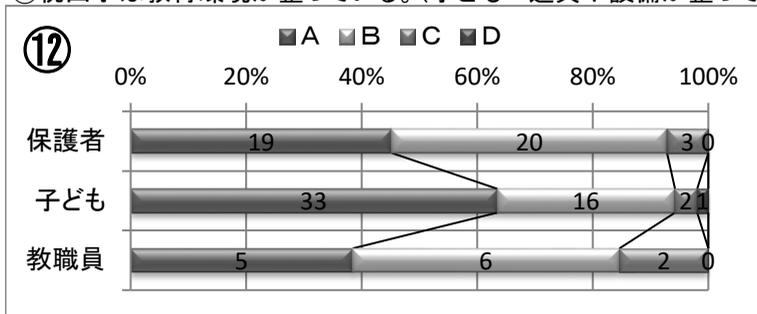


●保護者の評価が低く、子どもの評価も8割を切っている。

→夏休み前にお手伝いの指導を行った。その様子を保護者の皆様から伺って、今後に生かしていく。

※教職員については、学校での表れについて評価しています。

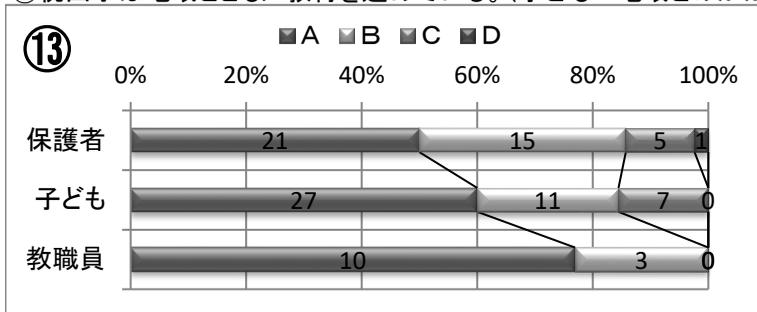
⑫桃山小は教育環境が整っている。(子ども→道具や設備が整っている。)



○3者ともよい評価が得られた。

→ 継続。施設面のメンテナンスが必要な部分は市に改善を働きかけている。教育備品等については、それぞれの指導の担当を中心に必要調査をし、計画的に購入を行っている。日頃から教育環境の整備を心がけていく。

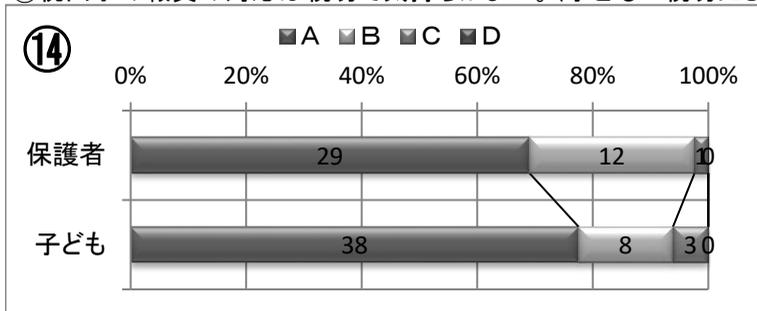
⑬桃山小は地域とともに教育を進めている。(子ども→地域とのかかわりを大切にしている。)



○3者ともよい評価が得られた。昨年度同様、キャリア教育を進める中で、地域の人・こと・ものとのかかわりを大切にしてきた成果と考える。

→ 継続。感染症の状況から、実施が難しいものもあるが、地域とつながり地域から学ぶことは、本校の特色の一つといえる。今後も協力体制づくりに努めていく。

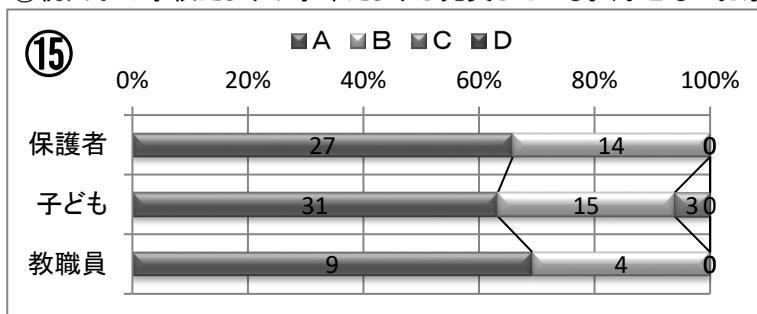
⑭桃山小の職員の対応は親切で気持ちが良い。(子ども→親切にしてくれる。)



○3者ともよい評価が得られた。

→ 継続。児童理解、家庭や地域との連携・協力を進める上で、大切な部分であるだけに、今後も対応に配慮していく。

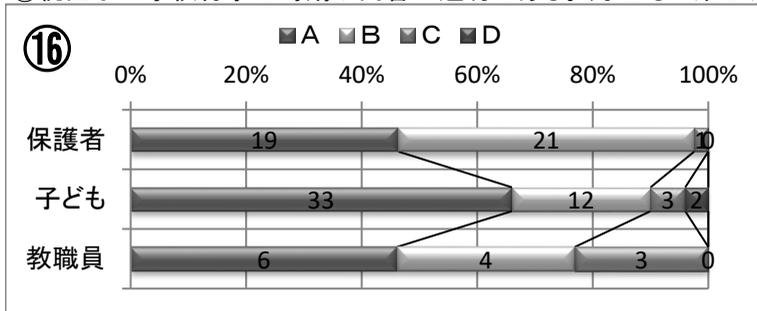
⑮桃山小の学校だよりや学年だよりは充実している。(子ども→お家の人はおたよりを読む。)



○3者ともよい評価が得られた。

→ 継続。今年度から、ホームページでは、校長室だより、重要な連絡事項の掲載を行っている。今後も、子どもの様子や保護者の皆様へのお願い、連絡など、内容が充実するよう努めていく。

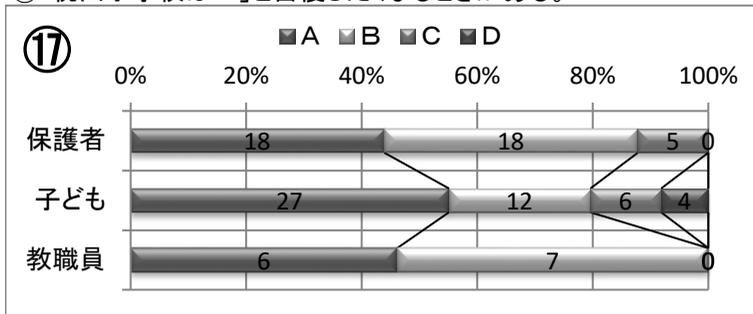
⑯桃山小の学校行事は時期や内容が適切である。(子ども→楽しく参加できる行事がたくさんある。)



○3者ともよい評価が得られた。

→ 今後も「子ども」を中心に据えて、気候や健康状態、感染症の状況等を考慮しながら時期や内容等を設定していく。A評価を高めていけるよう、各行事のふり返りも丁寧に行っていく。

⑰「桃山小学校は…」と自慢したくなる時がある。



○3者ともおおむねよい評価が得られた。
 →継続。キャリア教育やレジリエンス教育、おもてなしの学校など、桃小の特徴的な取組について、行事を通して子どもを育てる(鍛える)ことを大切にしていきたい。

★「ノーゲーム日の取り組みについて」

	意識して	ときどき	あまり	ゲームなし・しない	不明
保護者	13	13	16	2	0
子ども	21	15	6	1	0
教職員	0	5	6	0	0

★「桃山小ホームページの利用について」

	よく見ている	ときどき	あまり	不明
保護者	1	19	17	0
教職員	1	13	7	0

【記述でいただいたご意見をまとめました】

- ・キャリア教育は、その道のプロの方の体験を聴くことができたいへん有意義である。
- ・熱心な指導がありがたい。細かいところまで見ていただいている。
- ・桃小職員の丁寧な対応に感謝している。
- ・あいさつができていないと感じる。(家に遊びに来たときなど)
- ・誰に対しても思いやりをもった言動ができるとよい。
- ・桃小として大事にしたいポイントは何か、もっとはっきりと取り組むとよい。
- ・夏休みの課題の量が多いのではないかと感じる。

☆今回の学校診断評価では、全体として「よい」とする数値が得られました。今年度は複式学級が解消し、6学級でのスタートとなりました。年度が変わると、職員の入れ替わりが毎年ありますが、それでも、桃小が大切にしている行事の核の部分は丁寧に引き継がれています。これまで積み重ねてきた教育活動に対して、多くの保護者の方々より「よい」とする評価をいただいたことに感謝いたします。これも、保護者・地域の皆様のお力に支えられているからであり、今後も子どもたちや保護者の皆様に、より一層充実した教育が提供できるよう引き続き努力していきたいと思っております。

☆各項目において、AB評価が8割を超えながらも、「A評価が上がるといいな」と感じる部分も多くありました。また、数値は低いですが、C評価やD評価がある項目もあります。「子どもを丁寧に見取ること」「保護者や地域の皆様と連携を深めること」が、今後も大事なキーワードになっていくものと考えています。

☆記述部分でいただいた言葉をまとめました。お礼や励まし、また、それぞれのお立場から教育に対する熱心なご意見もいただきました。皆様の声をこれからも大切に、小規模校という特色を生かしながら教職員一同これからも桃っ子のためにがんばってまいります。

※今回の学校評価のまとめで何かありましたら、教頭:佐藤 81-9134 までご連絡ください。